

平成28年度第2回まちづくり構想住民懇話会での意見に係る考え方

No.	第2回住民懇話会における意見	考え方
1	公園に併設した場所に建てれば、一体で野外コンサートなどのイベントが開催できるのではないかな	本構想により整備する(仮称)生涯学習センターの建設予定地は、これまでの町民からの要望も踏まえ、「ぶらと前広場周辺」及び「旧病院跡地」を想定しています。 なお、施設配置や駐車場などの外構を検討する際に、屋外でのイベントなどで施設と一体的に活用できるようなスペースを検討したいと考えます。
2	ホールは最低でも800から1,000席は必要。(事業の採算が取れないため)ホールが1,000人規模であれば話題性も出るのではないかな	一般的な鑑賞事業において、相当の収益を上げることを目指した場合、1,000席以上の設置が必須条件となります。 ただし、鑑賞事業には様々な内容のものがあ、安価であっても質の高いものや、他団体等からの補助金を導入することで、実施が可能となるものも数多くあります。 1,000席以下の場合、専門ホールとして多数の鑑賞事業を展開することは難しいと予想されますが、日常における町民活動・交流の場としても活用することで、有意義となるホール運営・施設規模を検討したいと考えています。
3	控え室(個室)は、2つは必要	複数の控え室を設定することは、快適性の向上につながると同時に、他の用途に転用することが難しい諸室が増加することにつながります。既に設定している和室や会議室において控え室の代替となるために必要な機能を含めるなどの検討を行います。
4	結婚式や葬儀など大規模な行事で使えるような場所が必要	公共施設として、冠婚葬祭に係る民間専用施設と同等の機能やサービスを提供することは難しいと考えます。今後の検討過程において、具体的な提案が事業者からあった場合には、協働の観点から新施設での実行可能性について検討を行いたいと考えます。 なお、全町規模の行事を行う場として、過去に公民館が担っていた祝賀会等の会場利用が可能となるよう、町内民間施設の状況に注視し、収容可能な面積について検討を進めています。
5	絵画の収蔵庫が必要(公共施設に展示している絵を周期的な入れ替えを行なうための保管庫)	施設内外に係るパブリックアートの展示は、環境整備としてだけでなく、活動者の発表機会となる重要な要素です。寄贈品の受け入れだけでなく、作品の貸借による展示や関連講座の開催など、その活用について今後検討を進めます。 また、収蔵スペースについては、活用に係る状況を整理した上で、必要性の有無、規模や機能などを含め検討を進めます。
6	町民活動を活性化させるため、中間支援センターが必要	本施設には、情報共有や団体間交流促進、団体活動に必要な機器等を配置することで、町民活動の推進を目的とした「団体活動室」の設置を考えております。 今後、「中間支援センター」を設置する場合には、この「団体活動室」を活用した展開も可能となるよう、検討を進めたいと考えています。
7	ペンキなど汚れることを気軽にこなえる部屋として工作室を使えと便利ではないかな	木工や陶芸のほか、絵画や工作等での利用を想定しています。広く町民が利用する公共施設として、占有や過度の汚損に配慮いただければと思います。
8	親子学習室や高齢者交流室などは、使い方を限定した部屋とはしない方がよいのではないかな。多くの人が同じ部屋を使用することで、無駄な部屋を作らなくて住むのではないかな。	親子学習室は、施設機能としては専用に近い内容が想定されるものの、一般的な貸館のほか、現在課題となっている放課後児童に係る事業等の活用など、施設機能を生かした新たな自主事業について検討を進めます。 また、高齢者交流室については、高齢者等が気軽に立ち寄ることができる場であり、地域の人々との交流を通して生きがいづくり、閉じこもり防止につながるため、世代間交流の場としても共同で利用することは大変良いことですが、それぞれの目的に応じた事業等もあり、いつでも気軽に利用できる部屋の確保は必要となります。

No.	第2回住民懇話会における意見	考え方
9	新施設ができた場合、この施設で牛乳配付も行うのが良いのではないかな。	新施設となった場合においても、福祉牛乳配付については、継続してこの施設での実施を考えております。
10	会議室は2つでは少ないのではないかな	会議室は、中央公民館や社会福祉協議会の会議室の利用状況を踏まえ、現在のところ2つと見込んでいます。施設内の他の諸室を会議室として活用することや「交流館ぶらと」や「マルチメディア館」の会議室の使用状況も考慮し、来年度予定している「実施計画」において、会議室の室数について決定していきたいと考えています。
11	大規模な施設になるため、警備や管理人のための部屋が必要	本施設における警備は、機械化することを想定しています。 また、新施設においては、受付や管理用務等を一元化できるよう配慮した執務室を設定したいと考えており、個別の居室を設ける必要はないものと考えています。
12	避難所として考えるのであれば、固定席ではなく可動式の席になるのではないかな	ホールの座席は、避難所としての想定や現状の中央公民館大集会室における平場での利用度が高いことから、可動席にスタッキング席を加えた内容で検討を進めています。
13	自家発電が必要ではないかな	他の避難施設と同様に、停電時に一定程度の施設機能維持が可能なよう、施設機能や備蓄資材について関連する部署等と連携を深め、設置について検討を進めます。 また、施設設備や機器についても、省電力化が図られるよう配慮したいと考えています。
14	避難所となることから、地下に貯水タンク等の設置が必要では	飲料水として使用する水は、備蓄食料として備蓄されていることから、有事の際の飲料水確保は備蓄保管庫の設置等で対応したいが、生活用水(トイレ等)については、地下貯水タンクを設置することで、ライフラインの寸断時でも対応できる機能的な避難所となることから設置を検討したい。
15	シャワー設備が必要ではないかな	シャワー設備は、公民館機能において利用想定が大きく見込めないことから、設置の必要性は低いものと判断しております。 また、有事の際はライフラインが寸断され、本施設の設備が使用できないことも予想されることから、自衛隊やその他支援機関による衛生設備支援(仮設入浴場の確保)等を検討するとともに、災害時における民間施設の利用等について調査や検討を行ないたい。
16	物産スペースを設けて別海町のものを販売すれば、自衛隊員にも別海町をPRできる	地域の物産を販売するスペースやレストランなどの観光関係機能については、「道の駅」に登録することで、宣伝効果などを高めることを考えており、本施設内に整備をした場合、管理運営上の問題が生じることが懸念されるため、別に検討を進めることとしています。 イベントなどの開催において、別海町のものを販売するスペースを検討するなど、PRや自衛隊員と町民との交流に努めたいと考えています。
17	自衛隊の食事メニューが試食できるスペース	「自衛隊の食事メニューが試食できるスペース」については、イベント開催時にスペースを設けるなど、自衛隊員と町民との相互理解や交流を図る方策として、検討したいと考えています。